

さかど

ロイヤルの園だより

発行

(福)栄光会

さかどロイヤルの園

坂戸市大字森戸 739-1

「人生百年時代」

一層浅緑のくんだり
介護職員

毎年この時期になると最高齢の方がニュースでも取り上げられ話題となります。今年は男性百十一歳、女性は百十四歳でした。日本で百歳以上の方は十万人弱、そのうち女性が八十八パーセントを占めるそうです。私の住んでいる市でも百歳以上の方が十人もいらつしやるそうです。人生百年時代と言われていますが、長生きをされている方が多いことに只々驚くばかりです。私は休みの度に病院へ通い、普段の食事+サプリメント、野菜不足には青汁を飲んでいますが、とても長生きを出来そうにありません。

一層ご入居者の方も九十歳以上の方が十人、皆様毎日の食事をよく召し上がり感心してしまいます。ひと昔前は八十九歳という、相応のお年を召しているなという印象でしたが今の方は若い!「見習わなきゃな!」と思う毎日です。

「敬老会」

一層浅緑のくんだり
介護職員

九月九日に二層亜麻・鶴ユニット合同で敬老会を行いました。

た。今年、賀寿のお祝いにあたる方は傘寿・米寿・卒寿の方が二〇人中七名いらつしやいました。敬老会の準備で飾り付けをしていると、いつもと違うことが始まると興味津々の方もいらつしやいました。

敬老会が始まると、賀寿の方を含めご入居者全員に長寿のお祝いをさせていただきました。司会の職員が感謝の気持ちを伝えながら賞状をお渡しするとご自身の年齢をわかっている方も驚いている方も、「なんだかわからないな!」と話される方もいらつしやいましたが、参加されている皆様の笑顔が見られ順調に会が進行し私もホッとしました。

敬老会はご入居者の皆様にとつて年に数回のお祝いの日の中でも特に心に残る日にしたい。いつも穏やかな暮らしの中で良い刺激となり、明日への活力を感じていただけたら、という気持ちで行事に取り組みました。

人生百年時代。入居されている皆様が紀寿を迎えられるよう、私も精いっぱい支えていきたいと思っています。

「新しい家族」

三層瑠璃のくんだり
介護職員

我が家に三歳のダックスフントがいます。さみしがりで甘えん坊な性格だからか、分離不安症気味になりました。そこで意を決し、生後四か月になる赤ちゃんワンちゃんを新しく家族に迎えることとしました。お兄ちゃん犬は、初めは自分の縄張りに入って欲しくなかったためか鳴き続けていましたが、二日目になると気持ちが落ち着いてきたのか鳴くことをやめ、赤ちゃん犬の所へ飛んで駆けつけ、そばに寄り添い優しく舐めてお兄ちゃんぶりを発揮し始めました。今では追いかけてきたり一緒に寝たりと、まるで本当の兄弟のように仲良しになりました。とても

愛らしく、癒され、元気をもらっています。そして私の活力となつています。この元気をご入居者におすそ分け出来れば良いなと思います。

「敬老会 一層〜二層」



「私のおじいちゃん」

事務所
事務員

私には九十四歳の祖父がいます。私が産まれてから結婚するまで、ずっと一緒に住んでいました。祖父は元々、田んぼと畑仕事をしていたので足腰はとも丈夫で、腰が曲がるどころかピンピンしていました。九十歳を過ぎても活発に動き回り、車の運転もしていました。こんな元気な九十歳はいないだろう、ずっと元気に長生きしてくれるに違いない、私にとって祖父はまさに“最強のおじいちゃん”でした。そんな祖父でしたが、状況は一変。今年の二月に特養に入居しました。

きっかけは免許の返納からでした。車の運転ができないため行動範囲が狭まり、足腰が次第に弱くなっていました。それに伴い、人と会う機会が減ったことによって活気もなくなっていました。入居当初は帰宅願望が強く、「いつ帰れるんだ。」と言っていました。環境に慣れたのか最近はどういった言動もなく、口数も減ってしまいました。歩くことへの意欲も減り、今では手引き歩行でないと歩くことが困難な状態です。元気でいてほしいと思う反面、これが本来の年齢にあった姿なのだろうかと思ふ葛藤する日々です。

この仕事に就いてから、様々なことを経験しました。初めてお看取りをした時のことは忘れられません。昨日まで元気だった方が突然体調不良になり、そのまま入院して帰ってこられないこともありました。“いつ何が起るかかわからない”、大袈裟かもしれませんが、この仕事に従事している以上、後悔のないよう祖父と過ごせる時間を大切にしたいと思います。

「敬老会」

三層亜麻のくだり
介護職員

先日三層亜麻・鵜ノユニットでは敬老会を開催しました。当日は紅白幕で装飾し、いつもと違ったお祝いモードな雰囲気を感じていただけたと思います。また、女性の方にはお化粧をさせていただきました。少し照れながらも喜ばれていたのが印象的でした。敬老会の記念品として手形の入った色紙をプレゼントさせていただきました。手形は事前に準備をしましたが、皆様快く協力してくださいました。さらに装飾した色紙をお渡しするととても喜んでくださり、涙を流されている方もいらっしゃいました。最後に練り切りの和菓子を用意しました。皆様かわいらしい見た目も楽しまれ、召し上がられていました。後日、記念品をベッド脇に大事そうに置いていらっしゃる方がいらつしやり、とても嬉しい気持ちになりました。

「趣味の話し」

四層亜麻のくだり
介護職員

今年四月、千葉にバイクで旅行に行きました。動物園と水族館を目当てに行きました。その際、小学生ぶりの水族館にハマりました。そこで近くの水族館を探し品川の水族館に行きました。音と光で見せる魚たちやイルカショー、一回行っただけでこの水族館の年パスを購入することに決めました。大人になってから行く水族館は時間無制限。朝から夜までカメラを持って、一人でのんびり日常から離れ楽しんでいきます。

バイクで三重や大阪、仙台まで行ってきました。その土地の名物を食べて、その水族館にしかない生き物を見て写真を撮ることが趣味になりました。何度も写真のデータが消えてしまい悲しくなりましたが、その分また行く際には隅々まで見て楽しんでいきます。ぜひ皆さんも水族館に行ってみてはいかがでしょうか。

「敬老会 三層〜四層」

